

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生殖医学検査研究班

提出日：令和 03 年 2 月 28 日 報告者：小笠原恵

行事種別	講演会	行事番号	200005535	
開催日	令和 03 年 2 月 13 日 (土)			
時間	開始	15 時 30 分	終了	17 時 0 0 分
場所	小牧市民病院にて Web ライブ配信 (所在地 小牧市)			
テーマ	生殖医療センター設立にあたり			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司会	社会医療法人財団新和会 八千代病院	小笠原 恵 技師		
講師	小牧市民病院 臨床検査科 藤田京子 技師 小牧市民病院 産婦人科部長 兼 生殖医療センター長 佐野美保 講師			
内容	<p>2020 年度生殖医学検査研究班講演会は、新型コロナの影響で今年度はこの講演会のみとなった。また例年通りの集合型ではなく Web ライブ配信として Zoom を使用し小牧市民病院から生配信した。事前参加申し込みは、定員 40 名の申し込みがあり今まで参加していない多くの技師に講演会を視聴する形となり、生殖医学に興味のある技師が多く存在することが判明した。内容としては、小牧市民病院のリニューアルした生殖医療センターの設計や生殖医療センター初期の状況を、1 臨床検査技師の立場、2 センター長の立場と分けてご講演いただいた。1 として臨床検査技師の藤田技師が、旧病院から新生殖医療センター設立時の部屋の設計図や写真、動画を使用しとてもわかり易く説明された。旧病院で分娩室の一角を急きょ改築し業務上の動線が悪かったことや、スペースが確保できず顕微授精の度に凍結タンクを移動していたことの歯がゆさが伝わってきた。生殖医療センターでは、動線を考慮したバックヤードや清潔区域にこだわった設計となっており、患者目線や技師目線の動画を使用し立体的にとらえることができ、とてもわかり易かった。2 としてセンター長である佐野医師に小牧市民病院の産婦人科不妊治療初期の状況や生殖医療の基礎をご講演いただいた。当初、ご自身も不妊専門クリニックに研修へ行きご苦労されているのが伝わった。また医師として私たち臨床検査技師として勤務に就いている胚培養士の重要さをお話されチーム医療の大切さを理解することができた。生殖医療の基礎として AMH や不育症検査についても表や記事を表示しとてもわかり易く教えていただいた。お二人とも通じて現在生殖医療を業務としている</p>			

	<p>技師はもちろん、これから生殖医療に携わる技師や全く生殖医療に関わらない技師にも専門用語が少なく基礎を含めて本当にわかり易い講演となった。Zoom ライブ講演は、初の試みであったが大きなトラブルもなく無事終了することができた。</p>
参加者	総数：34名（会員31名、県外会員2名、その他講師1名）
共催、後援など	

2019.12.7